



令和6年度 荒谷小 学校便り

ナイン 11月号

文責 矢野 健二



<自分を知り進んで学ぶ子ども>
<感謝の気持ちを持ち思いやりのある子ども>
<健康でたくましい子ども>
<地域・ふるさとを大事にする子ども>

せせらぎの里に訪問してきました。

10月11日(金)の午前中にセツ山にある高齢者介護福祉施設「せせらぎの里」に9名の児童で訪問させていただきました。最初に施設や仕事内容の説明をしていただき、次に、車椅子介助の仕方や留意点を学んだり、ベッドから車椅子への移動を吊り上げ機械に乗って体験したりしました。最後に、子ども神楽やダンス、歌などを披露するミニコンサートを実施しました。感動で涙してくださる方もあり、子ども達も達成感を感じ、福祉についての興味関心の高まる貴重な体験となりました。施設長をはじめとする関係者の皆様、施設に入居されている方々、優しい温かい対応をありがとうございました。



稲刈り体験活動！

10月1日(火)の2・3校時に地域・保護者の方の協力のもと稲刈り体験学習が行われました。今年は稲穂が見事に実っており、今年の出来栄に地域の方も驚かされていました。9名の児童はそれぞれ自分のペースで稲刈り体験に取り組み、12月の餅つき体験を想像しながら、一生懸命働いてくれました。お米作りの大変さを肌で感じ、食を大切にする児童になってほしいものです。協力していただいた方々に感謝いたします。ありがとうございました。



脱穀体験！

10月30日(水)の5校時に脱穀体験学習を行いました。雨が続き、脱穀ができるかどうか心配されましたが、前日の雨の日に、地域の担当の方が早朝より体育館に稲を移し、扇風機を設置し、乾燥させてくれたおかげで当日晴天の下、無事に脱穀作業ができました。



11月の主な行事予定

- 11月 5日(火) …学校支援訪問
- 6日(水) …教育を考える会
- 16日(土) …駄賃つけ唄全国大会
- 17日(日) …村民文化祭
- 22日(金) …寿会との交流会
- 30日(土) …諸小150周年記念行事

【体験を経験に】

「体験」と「経験」は似たことばですが、「経験」は身に付いたことも含まれるそうです。米作り、せせらぎの里の訪問から、思いやりの心やものを大切にする心などがさらに育ってほしいと願っています。